

平成17年2月期 第二級陸上特殊無線技士 試験問題

法規 12問 } 24問 1時間  
無線工学 12問

法

規

〔1〕 無線局の予備免許が与えられるときに指定される事項は、次のどれか。

1. 無線局の種別
2. 無線局の目的
3. 運用許容時間
4. 無線設備の設置場所

〔4〕 電波法施行令に規定する「陸上の無線局」に該当するものは、次のどれか。

- |        |        |
|--------|--------|
| 1. 海岸局 | 2. 固定局 |
| 3. 航空局 | 4. 放送局 |

〔2〕 免許人が電波の型式の指定の変更を受けようとするときの手続は、次のどれか。

1. その旨を申請する。
2. その旨を届け出る。
3. あらかじめ指示を受ける。
4. 免許状を提出し、訂正を受ける。

〔5〕 無線従事者は、無線通信の業務に従事しているときは、免許証をどのようにしていなければならないか、次のうちから選べ。

1. 通信室内の見やすい箇所に掲げる。
2. 通信室内に保管する。
3. 無線局に備え付ける。
4. 携帯する。

〔3〕 「F3E」の記号をもって表示される電波の型式は、次のどれか。

1. 全搬送波による両側波帯・アナログ信号である単一チャネルのもの・電話
2. 周波数変調・デジタル信号である単一チャネルのもの・ファクシミリ
3. 周波数変調・アナログ信号である単一チャネルのもの・電話
4. 無変調パルス列・デジタル信号である2以上のチャネルのもの・データ伝送

〔6〕 第二級陸上特殊無線技士の資格を有する者が、1,606.5 キロヘルツから4,000 キロヘルツまでの周波数の電波を使用する陸上の無線局の無線設備（多重無線設備を除く。）の外部の転換装置で電波の質に影響を及ぼさないものの技術操作を行うことができる最大の空中線電力は、次のどれか。

1. 50 ワット
2. 30 ワット
3. 20 ワット
4. 10 ワット

## 法

## 規

〔7〕 次の記述は、陸上移動業務の無線局が無線電話により相手局を呼び出す場合に順次送信すべき事項及び送信回数を掲げたものであるが、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

- ① 相手局の呼出名称 3回以下
- ② こちらは 1回
- ③ 自局の呼出名称

- 1. 1回
- 2. 2回以下
- 3. 3回
- 4. 3回以下

〔8〕 総務大臣が無線局に電波の発射を命じて行う定期検査（電波法第73条第1項ただし書の検査）において、検査する事項は、次のどれか。

- 1. 無線局の電波の質又は空中線電力
- 2. 無線局の運用状況
- 3. 無線従事者の技能
- 4. 電波の変調度

〔9〕 免許人は、無線局の検査の結果について総合通信局長（沖縄総合通信事務所長を含む。）から指示を受け相当な措置をしたときは、どうしなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

- 1. 措置の内容を無線業務日誌に記載するとともに総合通信局長（沖縄総合通信事務所長を含む。）に報告する。
- 2. 措置の内容を無線検査簿又は無線局検査結果通知書の記載欄に記載するとともに総合通信局長（沖縄総合通信事務所長を含む。）に報告する。
- 3. その旨を検査職員に連絡し、再度検査を受ける。
- 4. 直ちにその旨を届け出る。

〔10〕 総務大臣が無線局に対して臨時に電波の発射の停止を命ずることがある場合は、次のどれか。

- 1. 発射する電波の質が総務省令で定めるものに適合していないと認めるとき。
- 2. 免許状に記載された空中線電力の範囲を超えて運用していると認めるとき。
- 3. 発射する電波が他の無線局の通信に混信を与えていると認めるとき。
- 4. 運用の停止の命令を受けている無線局を運用していると認めるとき。

〔11〕 陸上移動局の免許証票は、どこに備え付けておかなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

- 1. 総務大臣が別に告示する場所
- 2. その送信装置のある場所
- 3. 基地局の無線設備の設置場所
- 4. その無線設備の常置場所

〔12〕 免許人は、住所を変更したときは、どうしなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

- 1. 無線設備の設置場所の変更を申請する。
- 2. 遅滞なく、その旨を届け出る。
- 3. 免許状の訂正を受ける。
- 4. 免許状を訂正し、その旨を報告する。